

事務事業調書

平成26年度

事業No	190	課	社会福祉課	係	社会福祉係	起案者	水谷幹雄
						決裁者	近藤芳永
事務事業名	福祉の拠点づくり事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 6 地域福祉 1 住民主体の地域福祉の推進 4 地域づくり・拠点づくり			予算科目(会計)		一般会計				
				予算科目(款・項・目)		15-5-40				
				総合計画以外の計画		高齢者福祉計画				
				関連する総合計画の施策		2-2-1-4-1				
				性質区分	市の内部事務事業					
根拠法令	有	安城市福祉センターの設置及び管理に関する条例、安城市福祉センターの管理に関する規則、安城市社会福祉								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	全部委託		委託先							
実施期間	開始	平成03年度		経過	23年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		障害者・高齢者・児童などが			~になる		地域の活動拠点として、福祉センターなどを利用するようになる。		
事務事業の内容	総合福祉センター・北部福祉センター・西部福祉センター・作野福祉センターの4箇所に加え、平成20年度には桜井福祉センター・中部福祉センターを開設し、安城市福祉事業団に管理運営を委託しました。社会福祉会館は安城市社会福祉協議会に管理運営を委託しました。平成21年度からは福祉事業団と社会福祉協議会の統合により、新社会福祉協議会による管理運営を行っています。また、平成25年度には安祥福祉センターを開設し、安城市社会福祉協議会による管理運営を開始しました。									
改善・対策の履歴	福祉事業団と社会福祉協議会が統合したことにより、事業運営と施設管理が一体的に行えます。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	311,212	292,947	336,050	300,392	293,943
財源計	310,708	291,498	334,601	298,943	291,738
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	4,720	7,141	4,800	7,588
	一般財源	305,988	284,357	329,801	291,355
受益者負担金	4,720	4,700	4,800	0	5,438
職員人件費 (従事職員数)	504 (0.08)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	2,205 (0.35)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	福祉センターの管理委託	見込	6.00	6.00	7.00	7.00
			実績	6.00	6.00	7.00	
	指標名 (単位)	施設数(か所)	活動の総事業費(千円)	233,952	236,330	240,995	
			活動にかかるコスト(千円)	38,992.00	39,388.33	34,427.86	
活動2	活動名 (活動内容)	社会福祉会館の管理委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	施設数(か所)	活動の総事業費(千円)	10,416	10,362	13,490	
			活動にかかるコスト(千円)	10,416.00	10,362.00	13,490.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	福祉センター利用者数(人)			目標	580,000.00	592,000.00	650,000.00	650,000.00
				実績	598,526.00	608,146.00	598,747.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	
	社会福祉会館利用者数(人)			目標	14,000.00	14,000.00	14,000.00	14,000.00
成果2				実績	15,645.00	15,865.00	17,841.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	団体の活動の場だけでなく、個人で利用している人達の交流の場になっています。
----	---------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	指定管理者制度の導入による見直しにより、コストの削減に努めています。 社会福祉協議会の社会福祉活動や職員構成の変動により単位コストが変動しました。
成果	各福祉センターでは、福祉団体の利用を優遇していることで、多数の福祉団体の活動の場になっていたり、無料で様々な器具を利用できるため、多くの個人利用もされています。反面、平成25年度に新たに7番目の福祉センターとして安祥福祉センターが開設され、利用者が大きく増加するものと思いましたが、利用者の増加は伸び悩んでいます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
福祉センターの職員配置の見直しを図るよう働きかけます。 自主事業の講座の充実を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	利用者のニーズをふまえた管理運営や職員の人材育成及び経費削減（職員の適正配置や委託内容の見直し）に努めます。